

ネット上の違法動画の現状 と放送事業者における対応

投稿サイトを中心に
違法動画対策の立場から

1. 放送事業者の違法動画対策

- 放送局によって異なる対策のレベル
 - 在京社、名阪社、その他
 - アニメ、ドラマ、二次利用への取り組み

- 全てのコンテンツに対応することは不可能
 - コンテンツが、毎日24時間分生み出される

- 放送局固有の問題

2. 違法動画の監視削除

□ 砂漠に水を撒く状況

削除を実行しても、違法動画がなくなることはない。

以下のことが、同時多発的に起こる。

- 同じ人が、同じサイトに再度アップ
- 他の人が、同じサイトにアップ
- 同じ人&他の人が、他のサイトにアップ
- 同じ人&他の人が、より見つからないようにアップ
- 違法動画の全体像は把握できない
- 悪質化、巧妙化

→削除が目的ではない。ネット上に違法動画が残っていると、効果があるのか？ 次ページへ

3. 当社の違法動画対策

- 単純に、違法動画を削除しても、問題は解決しない。
- 当社単独で行うことに限界。そこで…

啓蒙（一般、利用者、アップローダー向け）

- ・ 民放連による啓発スポット
- ・ A-PAB内放送コンテンツ適正流通推進連絡会のHP

サイトとの交渉

- ・ 個別交渉、局の有志などで、CODAなどを通じて
- ・ 基本は非協力的。（サイト側に、通常、協力するインセンティブはない。）

アップローダーの刑事告訴

監視&削除要請（当社の人材＋業務委託）

特定のサイト側からのツール

- ・ 違法アップローダーは、ツールの抜け道の工夫・努力を惜しまない。
- ・ アップローダー間で、協力・情報共有か。

4. 当社の監視 & 削除 (監視削除の委託分)

□ 正規配信の視聴習慣

- ・主に正規の動画を視聴する習慣づけを重視。(違法動画配信の妨害)
- ・特に、無料広告付き見逃し配信を入りに、正規配信の視聴習慣へ。この趣旨に賛同して、許諾・一定の減額の協力をしている権利者もあり。

□ 監視削除対象

- ・主な監視削除対象コンテンツは、正規配信コンテンツ
- ・監視削除時期は、配信コンテンツ放送から一定期間中が多い。

□ 無料広告付き見逃し配信の位置づけ

- ・違法動画と録画視聴に対抗しうる唯一の手段。(正規配信のライバル)
- ・これを入りに、正規動画の視聴習慣を作りたい。
- ・正規配信の視聴習慣の兆候、放送への回帰の兆候もあり。

5. 当社コンテンツの違法動画の状況

□ サイトの状況

(監視削除の業務委託分(2015年4月1日～2016年3月31日)より)

- 違法動画の数が多いサイト
- 削除が遅いサイト(見逃し配信とバッティング)
中国のサイトは削除要請に応じないサイトもあり。

□ 視聴されている地域

- 当社の違法動画が視聴されている地域(中国を除く)
- 某サイトの機能を使用、期間:2015年7月18日～2016年7月16日)
- 圧倒的に日本ユーザーが視聴

*あくまで、当社におけるデータです。

まとめとして、違法動画対策上、言いたいこと

□ 違法動画対策で決定打はない

- ・ 監視削除その他の手段では、問題は解決しない。悪質化。巧妙化。
- ・ 権利者としては、リーチサイトの対応など、複数の対策を行う手段が欲しい。

□ サイト側は、違法動画対策に取り組むインセンティブはない(適正な義務を増やすことが必要)

- ・ 法的な責任がない事柄に関しては、協議すら続けられない。
- ・ 真摯に協議しない場合、何らかのペナルティが考えられないか。

□ 全ての費用は被害者である権利者という歪な構図

- ・ 悪質化、巧妙化することにより、更に、手間と費用がかさむ傾向。

→ 日本のコンテンツ産業の基盤を、まずは守るべき。

- ・ 日本のコンテンツで、海外から日本向けに違法配信ビジネスというのが実態！
- ・ 日本のコンテンツが被害&日本の市場(配信産業など)が被害

→ 国際的な協力体制が必要

- ・ 衛星条約の類の発想(自国において、自国から伝達することを阻止)